

日本最初の公立小学校として開校された小千谷小学校

小千谷小学校長 山崎 勝之

小千谷小学校は、明治元年 10 月 1 日に日本で最初の公立小学校として創設されて以来、創学の精神を連綿と受け継ぎながら、教育活動を続けております。「学校は人をつくり、その人は地域を興す」という学校に伝わる言葉が、脈々と生きています。

小千谷小学校は、戊辰戦争の灰燼の中、小千谷の縮商で儒学者でもあった山本比呂伎翁の建白により柏崎県知事の認可を得て「振徳館」として創立されました。創立以来、小千谷小学校は、地域の人々の熱い思いに支えられながら、数多くの実績を積み重ねてきています。

平成 22 年には、校舎全面改築が実現し、最新の施設・設備を有する学校に生まれ変わりました。中越大震災からの復興のシンボルとして、また、地域の防災拠点として



の役割も担い、素晴らしい校舎となりました。明治元年の創設時と同様に、現代においても未曾有の震災や経済不況という苦境の中で学校建設が実現しました。それは、「苦しい今だからこそ、教育が何より大切である」という創立当時の小千谷の人々の考え方が、今も綿々と続いている証でもあります。

小千谷小学校には、学校創設者である山本比呂伎翁の次の教育理念が息づいています。

子どもたちを決して急いで追い立てることなく、いたわり引き寄せて、悠々のびのびと学ばせ、『天性の真』を一人一人に育てあげるのは、子どもたちが生まれながらにもっている可能性『天性の真』を伸ばすことが大切です。



このような小千谷小学校に勤務し、その歴史と伝統を紡いでいく営みに関わることができるとは、私たち教職員にとって至上の喜びです。かけがえのない子どもの成長を、学校と家庭・地域が信頼関係の中で手を携えて支えていけたらと考えています。また、「地域が学校、地域の学校」として、今ここに生きる子どもたちとともに、私たち大人も、心をみがき、共に高まっていきたいと強く願っています。

教育目標「心をみがく」達成のための合言葉「笑顔あふれる小千谷小学校」の実現に向けて、教職員一同一丸となって頑張ります。

小千谷小学校の教育活動にご理解とご協力をよろしくお願いいたします。